



道の駅運営事業者の慎重な選定と防災機能の整備を

志政あやせ 金江 大志

●道の駅について

Q 道の駅の運営方法や役割は、運営事業者により大きく変化すると考える。事業者の選定は慎重に行う必要があるが、選定基準や募集方法は、

A 道の駅の管理運営は、指定管理者制度による民間活用を考えており、要求水準や募集方法は現在検討中である。地場農畜産物提供ができる業者であることなどが募集内容の一例になる。

Q 近年、国内で多発する自然災害への対策として、道

の駅に防災機能を整備し、災害時に活用しないか。
A 道の駅の立地や施設を有効活用するため、市の防災担当と意見交換し、防災機能を整備したいと考えている。
Q 既存FMラジオ局の支局として、道の駅内に災害時にも活用できるラジオブースを設置してはどうか。
A 防災の観点から、ラジオブース設置の有効性は認識している。今後、指定管理者を募集する中で、条件なども含め検討していきたい。



地域と丁寧な協議を重ね早園地区センターの再整備を

志政あやせ 笠間 昇

●早園地区センターの老朽化に伴う再整備について

Q 再整備に向け、どのような考えで進めていくのか。

A 地区センターと自治会館を統合することにより、新しく使いやすい施設、さらには、地域の防災拠点となる施設にしたいと考えている。自治会や地域住民と協議を進め、早期整備を目指していく。

●通学路の整備について

Q 城山中学校の外周道路で未整備となっている箇所は、どう整備していくのか。

A 外周道路は、幅員4メートルを確保し、市道路線に認定後、整備したいと考えている。現道部分に凹凸があるため、初めに砕石舗装を行い、安全を

（仮称）綾瀬スマートインターチェンジ周辺の土地利用

志政あやせ 齊藤 慶吾

●物流総合効率化法により、国から各種の支援を受け

Q 誘致した実績はあるか。
A 同法に認定された企業を誘致した実績はない。



1月11日、綾西小学校の児童が議場を見学しました<市役所議会棟にて>



災害時の避難所である学校体育館への暑さ対策は

志政あやせ 齊藤 慶吾

●地域防災計画について

Q 市は、避難所である学校体育館にエアコンを設置する考えはないとのことだが、暑さ対策をどう講ずるか。
A 災害時に多くの被災者が体育館に避難した場合、空調対策が必要と考える。猛暑日に災害が発生した場合は災害関連死も危惧される。暑さ対策として、災害協定を締結しているレンタル会社の協力で、スポットエアコンや扇風機を設置する予定である。

Q 災害時に、支援物資の受け入れや配布が円滑に行える体制は整っているか。
A 防災計画では、IIMURO GLASS市民スポーツセンターが第1の受け入れ先となっている。同施設で受け入れが困難になった場合は、災害協定を締結している物流業者の倉庫を使用して受け入れを行う。物資の整理や避難所への配布は、物流業者の従業員に協力いただきながら行う予定である。



落合・吉岡土地地区画整理地内での埋設物調査の結果は

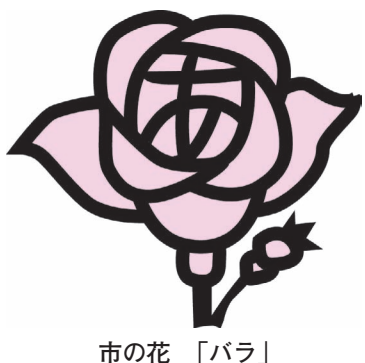
二見 昇

●落合・吉岡のまちづくりの現状について

Q 埋設物調査では、針金やガラスなどがあるが、通常の土の入れ替えによる混入と報告された。産業廃棄物を埋設する際は、油圧シヨベルで2段階掘りをして、地中深くまで埋めると聞いたことがあるが、市は調査箇所には産業廃棄物がなくと判断しているか。
A 今回の調査は、土地利用履歴調査を踏まえ、土地形状が変わっている箇所や権利者の意見、聞き取り調査などから調査箇所を選定した。土の入れ替えが行われた深さより下の関東ローム層まで調査しており、産業廃棄物などの異物はないと理解している。

Q 調査の結果から、権利者には瑕疵担保責任が発生しないと考えているか。
A 今回の調査により、瑕疵がないことを明らかにしており、瑕疵担保責任は発生しないと考えている。
●本市の小・中学校の教職員の働き方について
Q 教職員1人当たりの1週間での時間外勤務時間は、
A 平成29年度の平均時間外勤務は、小学校で約11時間、中学校で約13時間である。
Q 土・日曜日に出勤した教職員の割合は。
A 平成29年度は、小学校では264人中148人で約56%、中学校では162人中99人で約61%だった。

ている市民は42%であったがこの結果をどう分析し、今後の防災対策に生かすのか。
A 回答者は防災意識が高いと考えるが、備蓄率は低い状況である。冷蔵庫の食料や缶詰など、普段の生活の中で保管している食料が、災害時に利用できることを周知し、防災意識の向上を図りたい。



市の花 「バラ」



集団がん検診の予約受付を電子申請で行えないか

公明党 内山 恵子

●がん予防対策とがん検診の受診環境のさらなる充実について

Q 土・日曜日の集団検診は、電話と来庁に加え、電子申請で予約できないか。
A 受付の際に確認事項があり、電話が繋がらないこともないため、現時点では電子申請を導入する予定はなく、現在の方法で行いたい。

Q 子宮がん検診で、がんの原因となるヒトパピローマウイルスの有無を調べる、HPV検査を併用する考えは。
A 現時点では、国のがん検診実施のための指針に沿った対応を考えており、HPV検査を実施する考えはないが、国の動向を注視していきたい。



1月14日、成人式会場に集まった新成人たちの華やかな晴れ着姿<綾瀬市オーエンス文化会館にて>

たいと考えている。
Q 胃がんリスク検診の受診者が年々減少しているが、周知方法を工夫しないか。また、中学生へのピロリ菌検査を実施する考えはないか。
A 胃がんリスク検診の内容を理解してもらえよう周知を工夫したい。また、若年者への検査は、賛否が分かれているため、今後の動向を注視し、調査研究を続けたい。
●小・中学校における、がん教育の実施状況は。
A 小学6年生の体育科と中学3年生の保健体育科で実施している。今後も学習指導要領にのっとり、児童・生徒の発達段階や実態に合わせて指導していきたい。